

# 受精卵移植技術指導者研修受講アンケート

和暦 \_\_\_\_\_ 年 月 日

所属: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_

## 1. ウシ受精卵移植技術の取り組み状況について

### (1) 移植・採卵実績等

	所属機関として		あなた自身として	
昨年度の採卵頭数	頭		頭	
		(受胎率)		(受胎率)
昨年度の移植頭数 新鮮胚	頭	%	頭	%
および受胎率 凍結胚	頭	%	頭	%

注) 移植・採卵実績頭数等については、所属機関と受講者の実施頭数に区分し記入してください。

### (2) 所属組織の普及体制

受精卵移植技術従事者数 名  
うち 獣医師 名  
家畜人工授精師 名

・あなた自身の技術的な役割分担

・所属する機関の受精卵移植技術普及上の位置付け（具体的に）

### (3) 管内の取り組み状況

・管内の受精卵移植技術取り組み機関や農家において、優良事例と思われるものがあれば、その取り組み状況を具体的に記述してください。

- ・管内で受精卵移植技術が普及していない地域のある場合、その障害となっている課題について具体的に記述してください。

## 2. 技術上の課題について

- (1) 現在、あなたの受精卵移植技術における技術上の課題について具体的に記述して下さい。  
もし、それに対する対応策が講じられている場合には、その方策についても記述して下さい。
- (2) 受精卵移植技術以外の繁殖関連技術で、技術的に問題となっている事柄があれば記述して下さい。
- (3) 今後、家畜改良センターで重点的に行ってほしいと期待する家畜繁殖関係の技術開発課題があれば、3つ以内で挙げてください。
  - ①
  - ②
  - ③
- (4) 家畜繁殖技術以外で、あなたが現在悩んでいる技術的課題があれば記して下さい。



### 3. 普及上の課題について

受精卵移植技術の普及定着のため、今もっとも必要なことは何だと思いますか。上に述べた技術的課題以外の、普及体制や補助事業のあり方、さらには受精卵移植を用いた牛の改良を進める上での問題点等について、考えていることがありましたら（全国的な視点と地域的な視点に分けて）記してください。  
(全国的な視点)

(地域的な視点)

#### 4. あなた自身の技術経験度

以下の各項目の技術についてA～Dの段階でご自分の経験なり熟練度をお教え下さい。家畜を扱う技術に関しては全て牛関係の技術とします。実習実施における参考とさせていただきますが、公表はいたしません。

以下の基準でそれぞれ該当するものを記入してください。

- A：仕事のルーチンとして実施しており、慣れている。
- B：時々実施しており、何とかこなせる。
- C：経験はあるが、熟練していない。
- D：全く未経験。

技 術 項 目	技術 熟練度
直腸検査による卵巣・子宮の診断	
直腸検査による妊娠診断（40日）	
バルーンカテーテルもしくは洗浄嘴管による子宮洗浄	
人工授精	
尾椎硬膜外麻酔（獣医師のみ）	
胚の頸管経由移植	
凍結胚（直接移植法）の融解及び移植器へのセット	
発情周期に合わせた過剰排卵処理（スケジュールの作成と実施）	
受胎牛の発情同期化（スケジュールの作成と実施）	
バルーンカテーテルによる採卵	
灌流液からの実体顕微鏡下での胚の検索	
マイクロピペットを使つての胚の洗浄	
胚の鑑別評価（発育段階の判定とランク付け）	
ストローへの胚の吸引	
胚の凍結（ステップワイズ法：グリセリンによる）	
胚の凍結（直接移植法：エチレングリコールによる）	
胚の融解とグリセリンの希釈（ステップワイズ法）	
胚のガラス化保存	
胚の培養（培養液の調製含む）	